

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

e-pile next

空調機器工場・事務所棟 新築工事

e-pile next『先行掘削(ロックオーガー)+本杭施工』

本物件は秦野市丹沢の麓に位置しており、名水100選にも選ばれるほどの美味しい、汲める湧水スポットが豊富な地域です。

施工地盤は、GL-8.5mからN値50を超える粘土混じり砂礫層、以深-10.0mからはN値300を超える玉石・粘土混じりの砂礫層を確認したものの、-11.0m付近ではN値が13まで落ち込む弱い範囲が確認されたため、更に5ポイントの追加調査を実施する事となりました。追加調査結果では、初期調査結果同様の、-11.0mから-13.9m区間で、N値10~20程度の弱い粘土層を全てのポイントで確認したため、-14.0m以深の安定した玉石・粘土混じりの砂礫層まで貫入させることの判断となりました。

打設計画ではGL-14.0m以深の、N値300を超える玉石混じりの砂礫層を、通常の打設方法やスクリーオーガー併用による先行掘削では貫入できないため、硬質な転石などを効率よく削孔するために「ロックオーガー」による先行掘削を行う事としましたが、本工法では、ケーシング引き上げ時の孔壁崩壊に使用する安定液(セメントミルク)等は使用をしないため、本杭には硬質な転石に負けない、高い貫入性能が要求されました。

実施ではe-pile next工法の主な特徴となる先端特殊部の「高力構造」と貫入性に優れた「菱形切削穴」とで予定深度までスムーズに到達する事ができ、安心頂ける施工品質をご提供する事ができました。

元請様には搬入誘導や養生鉄板等、工事を安全かつ円滑に進めるよう様々なご協力を頂きました。

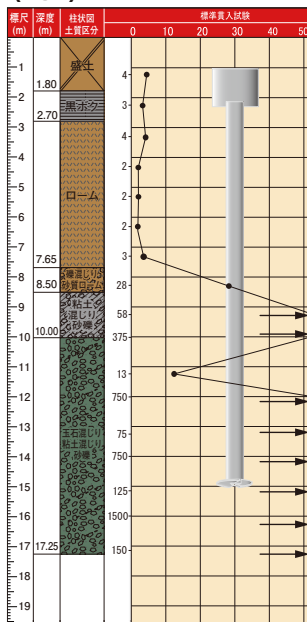


工事概要

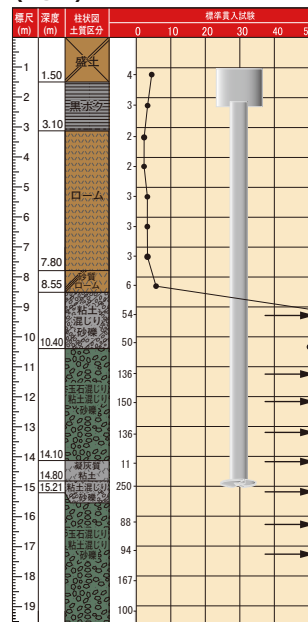
工事名	空調機器工場 事務所棟新築工事	杭 径	φ 267.4mm、φ 318.5mm、φ 355.6mm
施工地	神奈川県秦野市	拡翼径	Dw 600mm、Dw 650mm、Dw 700mm
用途	事務所	拡頭径	-
構造	鉄骨造(S) 地上5階	深度	SGL -14.9m
建築面積	594.40 m ²	支持力	766kN、937kN、1105kN
工期	2020年8月18日~2020年9月5日	本 数	8本、21本、13本

ボーリング柱状図

(No.1)



(No.2)



e-pile next

国土交通省大臣認定工法

公共土木・公共建築での活用拡大
国土交通省「NETIS」

登録番号: KT-160071-A

- 国土交通大臣認定 TACP-0483 砂質地盤(硬質地盤含む) TACP-0484 粘土質地盤
- 日本建築センター 基礎評定(引抜支持力) BCI評定-FD0540-01 砂質地盤 BCI評定-FD0541-01 硬質地盤 BCI評定-FD0542-01 粘土質地盤
- 日本環境協会 エコマーク認定 08 131022号

全ての鍵は杭先端にあり

■ 全ての鍵は杭先端にあり

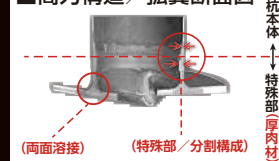
杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

■ 貫入性の問題を... 「**菱型穴**」により解決しました。

■ 拡翼変形の問題を... 「**特殊部**」により解決しました。

■ コストの問題を... 「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造/拡翼断面図



■ FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

e-pile

検索

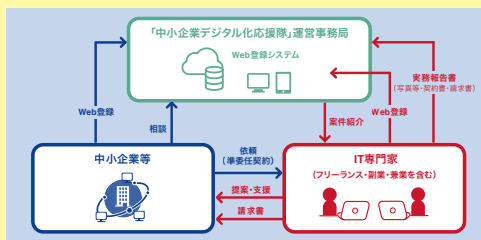


「中小企業デジタル化応援隊事業」を開始します

中小企業庁は、中小企業のテレワーク導入等のデジタル化を支援するために、令和2年度第一次補正予算にて独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）に対し「中小企業デジタル化応援隊事業」の経費を計上しています。中小機構は、中小企業に対してテレワークやEC等の活用について助言等を行うIT専門家のウェブ登録受付を開始します。

事業の概要

感染症への対策や働き方改革の必要性が高まる中、テレワークやEC等のデジタルツールに関心があっても、ノウハウがなく導入・定着に至らない中小企業が数多く存在しています。中小機構は、フリーランスや兼業・副業人材等を含むIT専門家を「中小企業デジタル化応援隊」として選定し、全国の中小企業のデジタル化・IT活用に向けた取組みを支援します。中小機構は、事業実施事務局（以下、「事務局」）としてアデコ株式会社を選定し、本事業を実施します。本事業では、支援を希望する中小企業や、IT専門家に登録していただき、登録された情報に基づき、事務局が両者のマッチング支援を行います。①デジタル化を促進したい中小企業と、②スキルを活かしたいIT専門家の登録受付を開始しています。専門家が採択され次第、順次マッチングを開始する予定です。なお、IT専門家には、支援開始前に、支援計画の作成（中小企業の要望による）と中小企業との準委任契約の締結を求めます。また、中小企業には経費の一部実費負担を求めます。支援実施後に、事務局からIT専門家に対して、契約に基づく支援実績の一部が謝金として支払われます。



詳細につきましては、当事業の特設ウェブサイトをご参照ください。そのため、「中小企業デジタル化応援隊事業」では、これまで中小企業のデジタル化に積極的に取り組んできた業界団体、金融機関、自治体等と連携していくこととしています。本事業との連携に関心をお持ちの団体等は、事務局又は中小機構にお問い合わせください。

事務局コールセンター
 電話番号 050-2000-7227
 受付時間 平日 9時～17時
 ※土日祝日及び年末年始を除く
 ※当事業は中小機構の施策であり、アデコ株式会社が事務局として実施します。

中小機構担当部署
 中小機構企画部
 生産性革命室推進事業室
 経営支援部 連携支援課
 担当: 佐本、上橋、石田
 電話: 03-3433-8811 (代表)

※詳細は中小企業庁のホームページをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム

食欲の秋



食欲の秋はダイエットの敵?

暑かった夏が終わり、朝晩は冷え込むようになってきましたね。この季節は美味しい食材がたくさんあって、「つつい食べ過ぎちゃう!」なんて方も多いのではないのでしょうか? 秋に食欲が増す理由をきちんと理解して、上手に過ごしましょう!

■秋に食欲が増す理由

「食欲の秋」と言われますが、こう呼ばれる理由は諸説あり、「美味しい食材が多い季節だから」という理由だけではありません。暑い夏を乗り越えて、パテた体を元に戻そうとする働きの高まりや、気温が下がってくると、体を温めたり、冬に向けて体力を温存しようとしていたりして、自然に食欲が増すのもこの季節ならではの体の反応と言われています。「食欲が増す」のは自分の体からのメッセージなのです。また、食欲の抑制に関わる脳の神経伝達物質セロトニンは、日照時間が短いと分泌が減少するため、秋から冬にかけては分泌が減る傾向にあります。

■食べ過ぎ注意! 食欲コントロールのコツ

食欲が増して、おいしい食べ物もたくさん…。
 つつい食べ過ぎてしまいます。
 食べる時にちょっと工夫して、無理なく食欲をコントロールしましょう!

・よく噛んで食べる!

よく噛むことで満腹中枢が刺激され、満腹感が高まります。歯ごたえのあるものを食べる、食材を大きめに切るなどして、ひと口30回を目安に噛みましょう



・時間をかけて食べる!

脳の満腹中枢が働くまで、食事を始めてから15分ほどかかると言われています。会話を楽しみながら食べると食事時間も長くなり、食事の量が少なくても満足感を得られやすくなります。

・野菜・海藻を先に食べる!

歯ごたえがあり噛む回数が自然と増えるため、満腹感を得られ食べ過ぎを防ぎます。また、血糖値の上昇を穏やかにし、高血糖の予防にもなります。

・食事は規則正しい時間に摂る!

規則正しい時間に食事を摂ると、体への負担が少なくなりやすく、かつ急激に強い空腹を感じにくくなります。さらには、おやつなどの間食の時間まできちんと決めておくと、メリハリをつけられて良いでしょう。

秋には魅力的な旬の食材がたくさんあります。新米をはじめとして、秋刀魚・栗・かぼちゃ・さつまいも・松茸など、思わず食べたくなる食材に恵まれた季節です。食べ過ぎてしまう原因をチェックし、対策することで秋の味覚を楽しみましょう。



経理マンが行く

喘息

10月になりこれから年末にかけて忙しくなる季節に入りました。気温も下がって参りますので体調管理を万全にお過ごしください。さて、私事ですが、実は左肺の3分の1が既に機能していません。私は小さい頃、工場地帯がある川崎市に住んでいました。当時の川崎市は光化学スモッグ等でかなり環境も悪く、幼くして私は喘息になってしまいました。咳が止まらない為、百日咳ではないかと何回も検査されたほどです。喘息と判明してから、父は私の為に仕事を辞め、緑が豊かな相模原市に引っ越してきました。父は機械設計士だったので、引っ越しを機に独立し、ひとく喘息持ちの私の側にいられるようにと母と小さい会社を立ち上げ、常に両親が家にいる環境で過ごさせてもらいました。相模原市に来てから私の喘息は驚くほど良くなり、再発することなく成人したわけですが、十数年前から、怪しい咳がでるようになり、案の定、喘息が再発。最初は花粉やハウスダストで反応するくらいだったのですが、最近では早朝、深夜、冷たい空気を吸い込んだ時、会話の途中も息を吸い込むので当然、咳がでます。咳は体力を消耗しますので、なるべく控えたいのですが、喘息は止めようとしても止められません。また、幼い頃の激しい咳のせいで、私の気管が拡張してしまい、花粉やハウスダストでも肺炎を繰り返す気管支拡張症という病気にもなっています。この病気は肺炎を起こすほど、肺の壊れがどんどん進行してしまいます。気管支拡張の部分には、炎症に伴って血管が増えるためにコップ1杯ほどの喀血をきたすこともあり、かなり大量の血を吐血するので自分でもビックリしてしまう程です。これらの病気のせいで気管支と肺の壊れが進行し、私の肺は徐々に機能が低下し、肺の3分の1の機能がさがっていない現在進行中の状態です。肺は一旦壊れると再生はできない為、これ以上悪化させないようにするしかありません。ちょうどこの季節は朝晩の気温差が大きく、花粉も舞う為に喘息の身体にはきついです。



私は喘息だけではなく、目の病気も持っているので病院へ行く頻度も多いですが、歳を重ねる度に、かかる診療科目が増えそうです。ただ、今だから言えるのですが、全て未然に防ごうと思えば避けられる病だったかもしれないと思うようになりました。結局病気とは日頃の生活習慣や環境、食事などに大きく影響されるものだと思うわけです。だからこそ、みなさんも将来の健康の為に、日常生活を今一度見直してみたいかがででしょうか。

病気になるれば薬で楽にはなれますが、肺など再生しない臓器には、その場限りの気休めでしかありません。若い頃は健康の事なんて気にもしていませんでしたが、人生の折り返しを過ぎたら、身体の弱いところからダメージを受け、病気になっていきます。老後人生をベッドの上で過ごすのは嫌です。私も遅ればせながら、はつたつとした自分を想像して生活していこうと思います!

